

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年8月18日(2016.8.18)

【公表番号】特表2015-521919(P2015-521919A)

【公表日】平成27年8月3日(2015.8.3)

【年通号数】公開・登録公報2015-049

【出願番号】特願2015-520630(P2015-520630)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/44 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/44

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月27日(2016.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上位椎体と下位椎体との間の椎間板腔に挿入するための脊椎インプラントであって、
近位ベース部分と、遠位端と、第 1 の側壁と、対向する第 2 の側壁と、を有するスペーサ本体と、

第 1 の側面と、第 2 の側面と、前面と、後面と、前記後面から延在する一対の対向する連結フランジと、を有するプレートであって、前記プレートが、前記プレートの横方向中心面の周りにそれぞれ配置される少なくとも 1 つの上部ボアホール及び少なくとも 1 つの下部ボアホールを形成する、プレートと、を備え、

前記プレートが、前記対向する連結フランジの機械的連結によって前記スペーサ本体に固定され、

前記少なくとも 1 つの上部ボアホール及び前記少なくとも 1 つの下部ボアホールが、前記椎間板腔内に前記脊椎インプラントを固定するために、それぞれ骨ネジを受容するように適合され、

前記一対の対向する連結フランジのうちの少なくとも 1 つが、前記第 1 の側壁及び前記第 2 の側壁のうちの対応する 1 つの中に含まれるそれぞれの凹部内に受容されるように適合される、内向きの突出部を有する、脊椎インプラント。

【請求項 2】

前記凹部が、それぞれの前記第 1 の側壁及び前記第 2 の側壁の一部のみに沿って延在する、請求項 1 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 3】

前記凹部が、それぞれの前記第 1 の側壁及び前記第 2 の側壁の全体に沿って延在する、請求項 1 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 4】

前記近位ベース部分が、前記第 1 の側壁と前記第 2 の側壁との間で測定されるとき、前記スペーサ本体の幅より小さい幅を有する、請求項 1 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 5】

前記近位ベース部分及び前記連結フランジの全幅が、合わせられると、前記スペーサ本体の前記幅にほぼ等しい、請求項 1 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 6】

前記少なくとも 1 つの上部ボアホール及び前記少なくとも 1 つの下部ボアホールが、前記プレートに対して固定された角度で前記骨ネジに係止するために、前記骨ネジのネジ付き頭部を受容するように適合される係止ネジ山を含む、請求項 1 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 7】

前記プレートの前記第 1 の側面が、前記椎間板腔に対して前方の位置に配置され、前記プレートの前記第 2 の側面が前記椎間板腔に対して後方の位置に配置される、請求項 1 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 8】

前記少なくとも 1 つの上部ボアホールが前記プレートの前記第 1 の側面に近接して配置され、前記少なくとも 1 つの下部ボアホールが前記プレートの前記第 2 の側面に近接して配置される、請求項 7 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 9】

前記少なくとも 1 つの上部ボアホールが、前記少なくとも 1 つの上部ボアホールに挿入された第 1 の骨ネジが前記椎間板腔の後方側に向かう方向に角度をなすように構成され、前記少なくとも 1 つの下部ボアホールが、前記少なくとも 1 つの下部ボアホールに挿入された第 2 の骨ネジが直線方向又は前記椎間板腔の前方側に向かう方向のうちの少なくとも 1 つの方向に角度をなすように構成される、請求項 8 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 10】

前記少なくとも 1 つの上部ボアホールが、前記第 1 の側面に近接して形成される第 1 の上部ボアホールと、前記第 2 の側面に近接して形成される第 2 の上部ボアホールと、を含み、前記第 1 の上部ボアホール及び前記第 2 の上部ボアホールが、前記プレートの前記横方向中心面の周りにそれぞれ配置される、請求項 1 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 11】

前記少なくとも 1 つの下部ボアホールが、前記第 1 の側面に近接して形成される第 1 の下部ボアホールと、前記第 2 の側面に近接して形成される第 2 の下部ボアホールと、を含み、前記第 1 の下部ボアホール及び前記第 2 の下部ボアホールが、前記プレートの前記横方向中心面の周りにそれぞれ配置される、請求項 1 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 12】

前記少なくとも 1 つの下部ボアホールが、前記プレートの前記横方向中心面に対して約 5 度～20 度の角度で形成された中心軸を有し、前記少なくとも 1 つの上部ボアホールが、前記プレートの前記横方向中心面に対して約 5 度～20 度の角度で形成された中心軸を有する、請求項 1 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 13】

前記少なくとも 1 つの上部ボアホールに挿入された第 1 の骨ネジ及び前記下部ボアホールに挿入された第 2 の骨ネジが、前記横方向中心面の周りで対称な角度でそれる、請求項 12 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 14】

前記少なくとも 1 つの上部ボアホールに挿入された第 1 の骨ネジ及び前記少なくとも 1 つの下部ボアホールに挿入された第 2 の骨ネジが、前記横方向中心面の周りで非対称な角度でそれる、請求項 12 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 15】

前記少なくとも 1 つの下部ボアホールが、前記プレートの前記横方向中心面からの距離 D_L で配置され、前記少なくとも 1 つの上部ボアホールが、前記プレートの前記横方向中心面からの距離 D_U で配置され、 $D_L : D_U$ の比率が 1 : 1 である、請求項 1 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 16】

前記少なくとも 1 つの下部ボアホールが、前記プレートの前記横方向中心面からの距離 D_L で配置され、前記少なくとも 1 つの上部ボアホールが、前記プレートの前記横方向中心面からの距離 D_U で配置され、前記距離 D_U が、約 2 . 75 mm ～ 6 . 75 mm の範囲

であり、前記距離 D_L が、約 2.75 mm ~ 6.75 mm の範囲である、請求項 1 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 17】

前記プレートが、約 1.5 mm ~ 2.3 mm の範囲の高さ H を有し、垂直方向の前記少なくとも 1 つの上部ボアホール及び前記少なくとも 1 つの下部ボアホールの外縁間の距離 Q が、約 1.2 mm ~ 2.0 mm の範囲であり得る、請求項 1 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 18】

前記スペーサ本体が、外向きに延在するピラミッド型の歯をそれぞれが有する上面側及び底面側を含む、請求項 1 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 19】

前記スペーサ本体が、そこを通して延在する中央窓を画定し、前記第 1 の側壁及び前記第 2 の側壁が、少なくとも 1 つの窓を画定する、請求項 1 に記載の脊椎インプラント。